

令和3（2021）年度 放課後活動指導者研修 実施報告⑤

実施日：令和3（2021）年10月27日（水）

今回は、「よりよい放課後活動を目指して」と題して、事例発表と講話を実施しました。事例発表では、県内の先進事例から実際の活動を行う際の工夫について学び、講話では、受講者が現在取り組んでいる活動をさらに充実させていくためのポイントについて学びました。また、前回に引き続き、新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、ZoomとYouTubeを活用した研修といたしました。

○ 事例発表「壬生町放課後子ども教室の取組」

壬生町教育委員会事務局 生涯学習課 主事 柳澤 友希 氏

壬生町立藤井小学校、羽生田小学校の放課後子ども教室における活動が紹介されました。

どちらも放課後児童クラブとの一体型で活動が行われており、内容も、企業や町、地域のボランティアなどの協力により、英会話や映画会、工作、パソコン教室、書道など、多岐に渡っていました。また、平日にほぼ毎日開催されている、全校児童のほとんどが参加しているなど、小規模校の特質も生かして、充実した活動が展開されていました。受講者は、現在自身が関わっている取組を振り返り、より活動を充実させるためのヒントを得ることができた様子でした。



○ 講話「よりよい放課後活動を目指して」

作新学院大学女子短期大学部 幼児教育科長・教授 青木 章彦 氏

まず初めに、放課後活動をよりよいものにするためには、関係する主体の連携と豊かな体験活動が必要であるとの話があり、今回は体験活動の在り方について詳しく説明がありました。特に重要な点として、体験によって何らかの学習が行われることが体験活動の目的であり、子どもたちが学習するために活動を意図的・計画的に提供する必要があることが強調されていました。また、充実した体験活動によって心豊かでたくましい子どもが育成されるのであり、そのためには地域の資源を生かすことや、地域の大人のかかわりが大切である、との話もありました。受講者は、放課後活動の意義や体験活動の重要性に改めて気づき、今後の活動への意欲を高めることができた様子でした。



★★★ 受講者の声 ★★★

- ・ 壬生町の事例はとても参考になりました。他の市町ではどんな活動をしているのかについて、さらに知りたくなりました。
- ・ 壬生町の取組は、学校の規模を生かしていて、目からウロコでした。学童との一体化という点でも、工夫されています。有償ボランティアという情報も新鮮でした。
- ・ 学校、地域、家庭の連携や学童保育と放課後子ども教室の連携も大切であることが分かりました。体験活動の重要性も再認識できました。
- ・ 地域との連携の大切さを改めて学びました。身の回りの地域資源を見直してみたいと思います。



研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp